

香川県西讃地区環境にやさしい農業推進協議会

(香川県観音寺市、三豊市)

R3補正
R4当初

45

背景・課題

西讃地区管内ではレタスビッグベイン病に対して定植時の薬剤灌注処理を行っているが菌密度が高い場合は効果が十分でない。また、資材費の価格上昇により生産者の経営が逼迫しており、省力化や経費削減が求められている。このため、香川県西讃地区環境にやさしい農業推進協議会では、令和4年度にレタスの栽培について、有機物（フスマ）を用いた土壌還元消毒による化学農薬の低減、局所的（畝上層部）施肥による化学肥料の低減、生分解性マルチ利用等による作業の省力化を図る実証を行った。

成果目標と達成状況

- 土壌還元消毒による化学合成農薬の使用量低減
- 土壌分析に基づく局所施肥による化学肥料の使用量低減
- 生分解性マルチ利用によるはぎ取り、回収作業の省力化
- べたがけ（通気性のある資材を作物上に掛ける簡易な保温方法）によるトンネル被覆作業の省力化

取組の成果

- 土壌還元消毒により、土壌中の微生物密度の低下が確認され、慣行で実施しているレタスビッグベイン病に対する殺菌剤の土壌処理を削減できた（1回→0回）。
- 局所施肥により化学肥料の主要な基肥を2割低減しても、慣行と同等の収量を確保できた。
- 生分解性マルチの利用では、導入コストが慣行（ポリマルチ）の約3倍になるものの、片付けの作業時間（慣行マルチでは約4時間/10a）が必要なく、作業時間の短縮効果が認められた。
- 保温方法について、使用時期が一部の作型に限定的ではあるが、べたがけにより慣行のトンネル被覆よりも作業時間を短縮することができた（13.3時間→4.2時間/10a）。



フィルム被覆の様子
(土壌還元消毒)



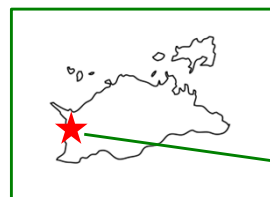
生分解マルチ被覆作業



べたがけの様子

普及に向けた取組

実証技術の地域への普及・定着を図るため、令和5年度から、普及センターとJAが連携して作成した「グリーンな栽培体系導入マニュアルレタス編」を活用し、部会員約400名を対象とした講習会等において検証結果を周知・説明している。



観音寺市

構 成 員

香川県西讃農業改良普及センター、
JA香川県西讃営農センター

品 目

レタス

栽培マニュアル・産地戦略

環境にやさしい農業
の推進 | 香川県



<https://www.pref.kagawa.lg.jp/s/eisannokai/kannkyouniyasasiinougounosuisinn.html>

問い合わせ先

香川県西讃農業改良普及センター TEL: 0875-62-3075